

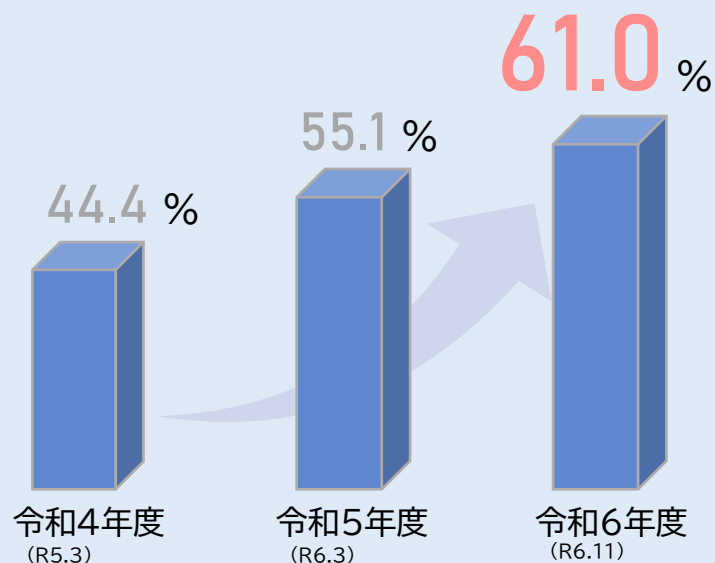


県の行政手続の約 **6割** がオンラインで手続可能に

(令和6年11月調査)

行政手続について、デジタル技術の活用を前提とした業務プロセスの見直しを集中的に実施し、時間や場所にとらわれない行政手続を拡大しています。

行政手続の全利用件数のうち
オンラインによる手続が可能な割合



令和9年度までに95%以上を可能とする。

before

県の窓口へ行く

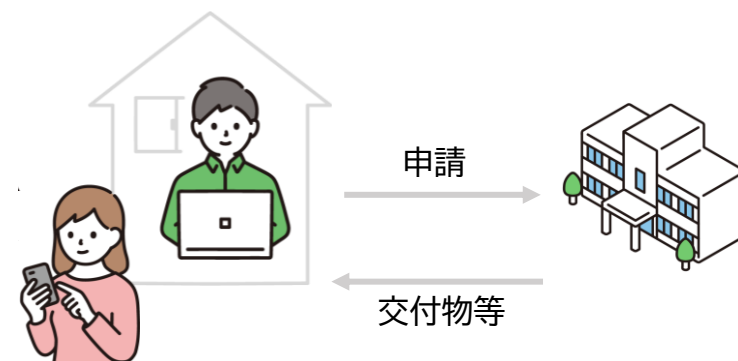
様式記入

待ち時間

提出・申請

完了

after



お家でも外出先でも24時間申請可能

例えば、こんな手続が、もうオンラインで！

- ・パスポートの申請
- ・建設業許可申請
- ・資格試験の受験申し込み
- ・各種講座・研修・イベントへの参加申し込み

▶ **キャッシュレス決済も拡大！**

- ・運転免許証の交付
- ・パスポートの交付
- ・県立博物館入場料
- ・県立高等学校の入学料

調査・学術研究、新しいアプリケーション開発、ビジネスの創出など、ぜひ、みなさんの自由な発想でデータをご活用ください

誰でも活用可能な **1280** 種類の行政データを公開中！

(令和6年3月末時点)

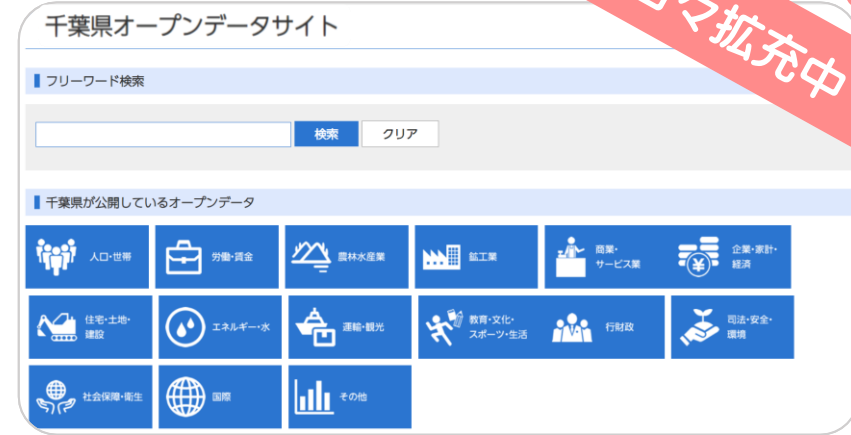
オープンデータ

行政機関等が所有する様々なデータを、誰もが無料で自由に利用できるよう公開しているもの。

県のオープンデータ活用事例

- ・医療情報ネット(ナビィ)
- ・ちばバリアフリーマップ
- ・ちば救急医療ネット
- ・ちば福祉ナビ
- ・ちば観光ナビ
- ・漁海況情報・東京湾漁場環境情報等
- ・生物多様性地理情報システム
- ・水稻生育予測システム「でるた」
- ・ちば情報マップ

※ その他の活用事例は、オープンデータサイトの「千葉県のデータ活用サイト」をご覧ください。



オープンデータサイト

クリック↑

月平均 **58,000** PV over
日々拡充中！



オープンデータを活用したアイデアソン



オープンデータの利活用を推進するため、学生がデータを活用してチームで地域課題の解決策を検討するイベント(アイデアソン)を令和5年度から開催。

電子契約

の導入により、事業者の負担軽減及び事務の効率化！

電子メールを受信できる環境であれば契約を締結でき、事業者・県職員双方に負担が少ない契約方法を実現。

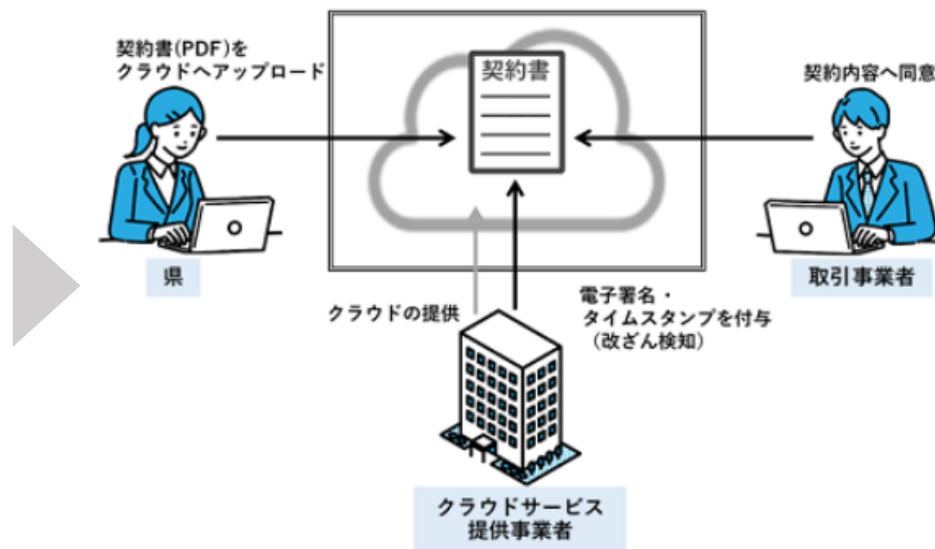
before

契約書の押印等、手間が必要

契約書の郵送等、時間が必要

郵送費・印紙税等、費用が必要

after



手間、時間、費用をかけずに契約可能！

▶ 電子契約の実証事業を実施

手順等の整理・関係規程等の整備

県土整備部において実証実験

令和6年4月から電子契約を本格導入！

ちばDXポータル
電子契約に関するページはこちら→



オフィス改革

の実施により、効率的な業務運営を実施！

多様で柔軟な働き方推進のため、職員のコミュニケーションの活性化、ペーパーレスの一層の推進、業務の内容や業務状況に応じた執務環境を実現。

(令和5年度実施・・・デジタル戦略課、デジタル推進課、山武地域振興事務所、東上総教育事務所山武分室)

オフィス改革後の執務スペース

▶ フリーアドレスとなった執務スペース



▶ 拡充したコミュニケーションスペース



▶ 集中作業スペース



ちばDXポータル
オフィス改革に関するページはこちら→



令和6年度は実証実験の対象所属を拡大！

県庁の業務改革 で 県民サービスの更なる向上 へ！

○ペーパーレス化等の推進

・ 電子決裁率 **2.6%** → **85.3%**
令和元年度 令和5年度
※ 文書に関する起案・供覧処理

・ 県の手続の **約9割で押印廃止済**

▶ 生成AI 利用に係るガイドライン

県専用の生成AI利用環境の利用に係るガイドライン概要

県専用の生成AI利用環境の特徴

- ① 入力データが生成AIの学習データに利用されない設定となっている。(データ利用の不同意(オプトアウト)の個別設定が不要)
 - ② 県専用の環境にデータが保護され、職員以外はアクセスできない。
 - ③ 全職員に利用アカウントが付与され職員が個別にアカウントを作成する必要がある。
- ※ インターネット上の情報を踏まえた回答を生成することはできない。

データ入力時の注意事項

✓ **個人情報をはじめとした機密性の高い情報を入力しないこと。**

入力不可とする情報の例：

個人情報、法人情報、法令秘密情報 等

入力可能とする情報の例：

公表を前提としている文書、会議・打ち合わせ記録 等

生成物利用時の注意事項

- ✓ 生成物を鵜呑みにせず根拠等をしっかり確認すること。
生成物には、虚偽や意図しない偏りが含まれる可能性があるため、正確性・妥当性・一貫性・説明可能性の観点から確認する。
特に、事実関係の誤り、偏り、計算、最新情報に注意。
- ✓ 著作権、商標権、意匠権等を侵害していないか確認すること。
インターネット検索や「特許情報プラットフォーム」を活用すること。
- ✓ 生成物は、原則として取捨選択、修正加工を行った上で利用すること。
生成物をそのまま利用した場合は、「千葉県生成AI利用サービスにより作成」と資料中に明記すること。

○デジタルツールの活用で、定型的事務を削減

・ 生成AIを本格導入！

県専用の利用環境でデータが保護され、入力データが生成AIの学習データに利用されない等の情報漏えい対策を確保。

・ RPAに作業を自動化

これまで職員が行っていた操作をPC上のロボットで自動化

→年間**3,760**時間の削減

・ ローコードツールによる**職員自らのアプリ開発**

職員自らがアプリケーションを開発して業務を円滑化

→**20**業務で開発、導入

「千葉県コロナ罹患後症状(いわゆる後遺症)対応医療機関検索システム」
「千葉県堆肥利用促進ネットワーク」など

・ その他デジタルツール

AIチャットボット、AI議事録、オンライン会議、AI-OCR、
庁内ビジネスチャット

ちばDXポータル

生成AI、業務効率化に関するページはこちら→



生成AI



業務効率化

千葉大学 × 千葉県 データ利活用アイデアソン(R5.9.5、9.14)

- ・オープンデータの利活用に向けた機運醸成、人材育成を目指し、アイデアソンを千葉大学と開催。
- ※ 本県として初めての開催。

アイデアソンとは？

- ・「アイデア」と「マラソン」を掛け合わせた造語のこと。
- ・グループ単位で特定のテーマについてブレインストーミングを行い、新しいアイデアによるイノベーションの創出を行う。



令和6年度は参加大学数や内容を拡充！
コンテストも実施！



アイデアソンに関するページはこちら→

千葉県DX推進協議会等における産学官民連携

県内市町村、企業、大学、NPOなどで構成

- ・ DXセミナー
- ・ デジタルセミナー2023 in 千葉(総務省、千葉大学と共催)
- ・ ちばDXフォーラム
(公益社団法人千葉県情報サービス産業協会と共催)
- ・ 企業と自治体のマッチングに向けた提案会

千葉県DX推進協議会に関するページはこちら→



デジタルセミナー2023 in 千葉
(11/9)



千葉県IT-E X P O 2023における
ちばDXフォーラム (11/29)